

第 3 回 佐 久 市 行 政 改 革 推 進 委 員 会

次 第

平成 2 6 年 1 1 月 6 日 (木)
午後 3 時 3 0 分 ~
佐久市役所 5 0 1 会 議 室

1 開 会

2 あいさつ

3 会 議 事 項

(1) 部 会 の 評 価 結 果 の 報 告 及 び 委 員 会 と し て の 評 価 に つ い て

4 そ の 他

5 閉 会

平成26年度外部評価 第1部会評価結果一覧

No.	事務事業名	評価	事業の現状について	現状を踏まえた評価 (今後どのように取り組むべきか)
1-1	市民意見聴取事業	手法等の見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・意見を聴く機会が増えたことは良いことだが、「その計画についてパブリックコメントをしている」ということを市民が広く知ることが大切である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートやワークショップなどは大変良いと思うので、是非行ってほしい。また、それに加え、市広報誌及びホームページでも「パブリックコメントが行われている」という事実が分かりやすくなるよう、工夫をすべきである。(ホームページで該当ページを見つけるのが大変で、分かりにくいいため。) ・市政モニターについて、意見を持っている方は沢山いると思うので、なるべく公募市民モニターを増やす方法をとるべきである。 ・市政モニターについて、項目をある程度絞り、意見を出しやすくしたらどうか。その上で、モニターの人数を増やす方が良い。
1-2	生活環境衛生事業	現行どおり	<ul style="list-style-type: none"> ・犬、猫や外来種の関係については、市民の住みよいまちづくりに必要不可欠だと思うので、しっかり行ってほしい。 ・区の美化活動の申請の審査等もしっかり行い、続けてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現行どおり実施してほしい。 ・猫の繁殖防止について、全区アンケートの結果を見て、より効果が上がる策を講じてほしい。
1-3	公衆トイレ維持管理事業	現行どおり		<ul style="list-style-type: none"> ・現行どおり実施してほしい。 ・利用者のモラルアップに向けて、学校や事業者向けの広報の強化を行ってほしい。
1-4	生活雑排水施設補助金交付事業	現行どおり		<ul style="list-style-type: none"> ・現行どおり実施してほしい。
1-5	臼田霊園管理事業	手法等の見直し		<ul style="list-style-type: none"> ・市の関与を減らす方向で見直しが必要である。 ・市から民間(医王寺やシルバー人材センター等)への管理運営の移管を検討すべきである。 ・なるべく利用者を日常から巻き込み、受益感をしっかり持ってもらい、今後のあり方を検討していただく必要がある。 ・昭和40年代より時代の変化は明らかであり、利用者からの「管理協力金」の徴収は必要である。
1-6	クラインガルテン望月管理事業	現行どおり		<ul style="list-style-type: none"> ・現行どおり実施してほしい。 ・佐久の冬も良いと思わせる何かしてほしい。 ・クラインガルテンの施設数の拡大や空き家、遊休農地の活用などを検証してほしい。

No.	事務事業名	評価	事業の現状について	現状を踏まえた評価 (今後どのように取り組むべきか)
1-7	学校情報教育 推進事業	現行どおり		<ul style="list-style-type: none"> ・現行どおり実施してほしい。 ・情報リテラシー(※情報を使いこなす能力)の推進とともに、情報の正しい使い方の教育にも一層力を入れてほしい。
1-8	天来記念館管 理運営事業	現行どおり		<ul style="list-style-type: none"> ・現行どおり実施してほしい。 ・入館者を増やす検討してほしい。 ・佐久全国臨書展の委託料を減らすよう、参加料の見直しなどを検討してほしい。また、NPO主導の実行委員会にしてほしい。 ・多くの来館者に来てもらうために、臨書展のような企画の他に、高校生等のパフォーマンス書道のような裾野を広げる企画も行ってほしい。
1-9	望月歴史民俗 資料館管理運 営事業	現行どおり		<ul style="list-style-type: none"> ・現行どおり実施してほしい。 ・より一層、子どもや地元の人が集う場所となるようにしてほしい。 ・市内でも、まだまだ、資料館を知らない方が多いと思うので、佐久市内の方へのPRをしてほしい。 ・より多くの方に来館してもらえるよう、親しみやすい企画展、イベント等の充実や中山道観光の情報発信拠点として活用してほしい。 ・歴史資料館であり、あまりリピーター客は無いように思うので、集客に力を入れてほしい。 ・小学校・中学校を対象としたワークショップをどんどん行い、隣接する天来記念館も含め、市内小・中学生がより多く来館できるように取り組んでほしい。
1-10	川村吾蔵記念 館管理運営事 業	現行どおり		<ul style="list-style-type: none"> ・現行どおり実施してほしい。 ・小・中学生を対象とした企画をさらに行ってほしい。 ・より、多くの方に来てもらえるよう、ホームページの内容を見直し、施設や企画等をPRしてほしい。 ・佐久市には良い施設・作品がたくさんあるのに、あまり知られていないのは寂しいため、オールマイティパスやスタンプラリーなどの他にも、各施設間で集客に向けた協議、取り組みをしてほしい。 ・民間の意見も取り入れてほしい。(例えば高校生・中学生はおもしろい発想があると思う。)

集計数

拡充	現行どおり	手法等の 見直し	縮小	廃止
	8	2		

平成26年度外部評価 第2部会評価結果一覧

No.	事務事業名	評価	事業の現状について	現状を踏まえた評価 (今後どのように取り組むべきか)
2-1	人権同和教育事業	拡充	<ul style="list-style-type: none"> ・人権に関する問題については、現在の手法等で差別をなくすことにつながるかどうか疑問。講座の開催や参加方法など、手法に検討を加える必要があるのではないか。 ・継続して行うべき事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習会への参加人数を増加させるために、手法等の見直しを行うべきである。 ・学習会の参加人数を増やし、差別があることを知ってもらうことが大事であるので、色々と工夫をするべきである。 ・教育で差別意識をなくす努力は必要のため、ニーズに合った対応を期待する。
2-2	ぴんころ運動推進事業	拡充	<ul style="list-style-type: none"> ・名称等も含め、全国的にも珍しい運動であると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・働き世代へのアプローチは大切なことだと思うので、推進してほしい。 ・ぴんころ食の普及を推進し、市民の食生活の向上にさらに取り組んでいくべきである。 ・望月高校で実施した食育教育は良い事業であるため、他校への呼びかけや働きかけも必要である。 ・食育について、小学生や中学生を対象とした教室ができるよう、行政からのアプローチをしっかりとすべきである。
2-3	こころの健康推進事業	現行どおり	<ul style="list-style-type: none"> ・複雑化する社会の中で、求められることも多くなると思う。デリケートな部分もあるため、対応は難しいと思うが、引き続き、ゲートキーパー等の知識を持った人を育てる事業は大切になると思う。 ・各講座・研修共に参加者が目標を上回っていることは良いこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・依存症等は知られるのを嫌がって、市からの関与を嫌がる人もいると思うが、専門家の力を借り、長く支援ができるようにしてほしい。 ・当事者同士の絆を築いていくことができるよう、支援してほしい。 ・市職員等の関係者の参加は十分あるため、一般市民への参加の働きかけを行ってほしい。
2-4	地域医療事務事業	現行どおり	<ul style="list-style-type: none"> ・事業推進 ・現行の事業の方向性や取り組み内容は是認できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現行どおり実施してほしい。 ・経済状況と医療を両立させるのは難しい点もあると思うが、今後も工夫と研究を進めてほしい。

No.	事務事業名	評価	事業の現状について	現状を踏まえた評価 (今後どのように取り組むべきか)
2-5	在宅要介護者 歯科保健推進 事業	現行どおり	<ul style="list-style-type: none"> ・8020運動の徹底 ・このまま事業を推進する。 ・検診を受けることは要介護者にとっても家族にとってもありがたいと思う。できれば治療にもっとつながればよいと思うが、本人の意向もあり仕方ないのかもしれない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現行どおり実施してほしい。 ・要治療となった方で治療を望まない方が多いため、受診時に要治療となった場合には、必ず治療をして欲しい旨を記載して欲しい。
2-6	へき地内山診 療所管理運営 事業	廃止	<ul style="list-style-type: none"> ・へき地診療所としての目的が達成されていない。(利用者減) 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者が一人のみの現状を見るにつけ、廃止すべきである。 ・衛生面や利用者数を鑑みても廃止すべきである。 ・ここ数年の利用者数など見ても、今後、利用者数の増加はないと思われる。
2-7	ピアカウンセリング事業	佐久広域連合へ事務を移管したため評価は実施していません		
2-8	つどいの広場 事業	拡充	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの数が減少している現状ではあるが、地域で子どもと親を支えることは、今後ますます大切になると思うので、このまま推進してほしい。 ・他の地区にも通えるところがあれば良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会状況と親のニーズを踏まえ、これまでどおり事業を推進していくうえで、開催場所などをもう少し増やし、引き続き、多くの子を持つ親のための交流の場を作ってほしい。
2-9	公立保育所給 食事業	現行どおり		<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、園内での調理を実施してほしい。 ・園児と調理員との顔が見える、関わりのある給食という現状を維持してもらいたい。 ・食材については、地産のものを使うという方向性で行うべき。

集計数

拡充	現行どおり	手法等の 見直し	縮小	廃止
3	4			1

平成26年度外部評価 第3部会評価結果一覧

No.	事務事業名	評価	事業の現状について	現状を踏まえた評価 (今後どのように取り組むべきか)
3-1	農業体験事業	拡充	<ul style="list-style-type: none"> ・組織論として農政課の事業ではないのではないか(観光課の事業ではないのか)。 ・新規の登録団体が増えず、かつ、構成員も高齢化している。 ・3年間継続で、初年度にのみ20万円の補助となっている。 ・受入団体の育成や新規参入が課題となっている。 ・体験参加者は増えてきており、リピーターも多く交流人口の増加になっている。 ・交流人口を増やす事業だと思うので、ストーリー性のある事業にしてもらいたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・農業体験は、農政としての事業ではなく、観光としての事業としていく中で、交流人口の増加につなげるため、補助等に係る予算を拡大し、佐久市の目玉事業としていくべきである。 ・農業体験における交流は重要な施策であり、団体の増加、特に若手の生産者の加入を増加させるため、事業を拡大的に改善すべきである。 ・受入団体の育成のため、補助内容をしっかりしたものとしていくべきである。
3-2	農作物鳥獣被害防止対策事業	拡充	<ul style="list-style-type: none"> ・fmさくだいらと広報誌にて、事業のお知らせをしている。 ・予算は余っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・もう少し、広報活動に力を入れるべきである(公会場にチラシを貼る等)。 ・鳥獣被害防止用の防護柵に対する補助金について、補助対象となる防護柵の延長を100メートル以上としているが、山畑は周囲が100メートル以上ないところが多いため、下限を見直し、下げるべきである。 ・予算をやや多めに枠取りしているのは良い
3-3	地産地消推進事業	拡充	<ul style="list-style-type: none"> ・活動や成果など、全体的にアピール不足を感じる。誰に何をどのように販売、アピールしていくのか明らかにすることが大切である。 ・地産地消を行っているという強みが出ていない。それぞれの場所(販売所)において、温度差を感じる。 ・林業分野における地産地消は、キノコのみ利用となっており、木材としての利用が弱い。 ・地産地消として利用するものの、量の安定が課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・負担金の支出団体が現在は米粉関係の団体のみであるため、他の関係団体にも支出をし、地産地消を推進していくべきである。 ・研究開発費の支出について、現在研究をお願いしている団体以外の団体や個人にも支出することや研究品目をより多くしていくなどの拡大を図っていくべきである。 ・農産物に対するウェイトが高いため、林業・水産業についても予算等を拡充して力を入れていくべきである。 ・委託している事業などについての市民へのPR活動の方法を見直すべきである。 ・学校給食における地元農産物のさらなる利用拡大を図るべきである。
3-4	有害鳥獣駆除対策事業	拡充	<ul style="list-style-type: none"> ・有害鳥獣を極力捕獲していく方針となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・捕獲頭数に応じて、今後は事業費を拡大していくべきである。 ・猟友会の会員を確保し、増加させていくべきである。 ・猟友会に対して、野生鳥獣を捕獲する際の安全対策の告知(指導等)を継続していくべきである。

No.	事務事業名	評価	事業の現状について	現状を踏まえた評価 (今後どのように取り組むべきか)
3-5	死獣処理事業	現行どおり	<ul style="list-style-type: none"> ・死獣の回収や処分の実施が、市から民間業者に変更り24時間体制となったことから、すばやい対応ができるようになったが、反面、支出は増加した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・動物が交通事故に遭うケースが増加し、回収及び処理を行うための委託費の支出の増加は、十分考えられるが、市民が安全に道路を通行することを確保するためにも、現行どおり事業を実施していくべきである。
3-6	外国人定住支援事業	現行どおり	<ul style="list-style-type: none"> ・特に問題なし。事業自体は必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目的を達成するために必要な事業内容が完備されており、費用の拡大も当面は不要なことから、現行どおり事業を実施していくべきである。 ・今後は国際交流サロンの事務局について、アイデアや量に変化を持たせる意味でも、民間団体に移行させ、運営していくべきである。
3-7	プラザ佐久管理運営事業	拡充		<ul style="list-style-type: none"> ・自主事業の拡充を積極的に計画し、収益を上げることにより、管理運営に係る委託費を減らしていくことを検討すべきである。 ・自主事業を行う団体は、現在の管理団体や市またはその他の団体等、多様であっても良い。 ・販売商品を拡充するための研究を行うべきである(農産品等)。 ・利用客の出入の動線を検討しているとのことだが、早急にプラザ佐久へ入りやすい動線を検討し、結論を出すべきである。
3-8	アダプトシステム事業	現行どおり	<ul style="list-style-type: none"> ・実施団体は多いがアダプトシステムへの登録が少ない。 ・「アダプトシステム」の名称は全国統一である。 ・公立学校は国県道で実施。 ・事故が無いように注意している。 ・アダプトを認定している場所が現在どのように進捗しているのか、検証していく必要があると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・区で取り組んでいる箇所など、本事業の活動により、美化等の成果が上がっていることもさることながら、取り組む団体の活性化にもつながっている様に感じられるため、現行どおり実施していくべきである。 ・認知度が低いことから、PRを行うことにより、協定の締結団体(里親)をさらに増やすとともに、本事業の認知度を上げるためにも、広報誌等での普及を推進するべきである。
3-9	土地区画整理啓発・情報収集事業	現行どおり	<ul style="list-style-type: none"> ・啓発と情報収集が目的であり、土地区画整理事業の新規認可を成果指標とするのは違和感がある。 ・啓発行動目標、情報収集行動目標を成果指標とした方が良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・土地区画整理事業は都市計画上、重要な事業であり、かつ地権者の思いが複雑に入り組むため、啓発は必要であり、かつ、行政の手法のスキルアップも重要である。よって、現行どおり、事業は実施していくべきである。 ・今後、用途地域内における需要の掘り起こしの研究・検討を行うとともに、新用途地域内の事業化を推進していく必要はある。

集計数

拡充	現行どおり	手法等の見直し	縮小	廃止
5	4			

部会としての評価

事業名 1-1 市民意見聴取事業

◆全ての評価内容

集計数		事業の現状について	現状を踏まえた評価 (今後どのように取り組むべきか)	その他(メモ欄)
拡充	1		・モニターについて、項目をある程度絞り、意見を出しやすくしたらどうか。その上で、人数を増やす方が良いと思う。	
現行どおり	2	・現行通り(改善の必要なし。)	・もっと多くの人に事業を理解してもらうようにしていく。	
手法等の見直し	2	・意見を聴く機会が増えたことは良いことだが、「その計画についてパブリックコメントをしている」ということを市民が広く知ることが大切だと思う。	・アンケート・ワークショップなどは大変良いと思うので、是非行ってほしい。また、それに加え、広報誌及びHPでも「パブリックコメントが行われている」という事実が分かりやすいよう、工夫をしていくことが必要であると思う。(HPでも見つけるのが大変。分かりにくかったため。)・市政モニターについて、意見を持っている方は沢山いると思うので、なるべく公募市民モニターを増やせる方法が取ればよいと思う。	

◆部会の評価結果(※委員会へ報告するもの)

部会としての評価	事業の現状について	現状を踏まえた評価 (今後どのように取り組むべきか)
手法等の見直し	・意見を聴く機会が増えたことは良いことだが、「その計画についてパブリックコメントをしている」ということを市民が広く知ることが大切である。	・アンケートやワークショップなどは大変良いと思うので、是非行ってほしい。また、それに加え、市広報誌及びホームページでも「パブリックコメントが行われている」という事実が分かりやすくなるよう、工夫をすべきである。(ホームページで該当ページを見つけるのが大変で、分かりにくいため。)・市政モニターについて、意見を持っている方は沢山いると思うので、なるべく公募市民モニターを増やす方法をとるべきである。・市政モニターについて、項目をある程度絞り、意見を出しやすくしたらどうか。その上で、モニターの人数を増やす方が良い。

部会としての評価

事業名 1-2 生活環境衛生事業

◆全ての評価内容

集計数		事業の現状について	現状を踏まえた評価 (今後どのように取り組むべきか)	その他(メモ欄)
現行 どおり	3	・犬・猫や外来種の関係については、市民の住みよいまちづくりに必要不可欠だと思うので、しっかり行ってほしいと思う。区の美化活動の申請の審査等もしっかり行い、続けてほしい。		・3事業に分ける必要あり。来年度は、3事業で評価したい。
手法等の 見直し	2		・現在、猫の繁殖防止について、全区アンケートを実施するようであるので、その結果を見て、より効果が上がる策を講じていただきたい。	・事業評価の対象事業を細分化、グループ化して評価する必要がある。 ・事業評価するに当たり、担当課が複数になっている事は評価しにくく、担当課も大変なのではないか。

◆部会の評価結果(※委員会へ報告するもの)

部会としての評価	事業の現状について	現状を踏まえた評価 (今後どのように取り組むべきか)
現行 どおり	・犬、猫や外来種の関係については、市民の住みよいまちづくりに必要不可欠だと思うので、しっかり行ってほしい。 ・区の美化活動の申請の審査等もしっかり行い、続けてほしい。	・現行どおり実施してほしい。 ・猫の繁殖防止について、全区アンケートの結果を見て、より効果が上がる策を講じてほしい。

部会としての評価

事業名 1-3 公衆トイレ維持管理事業

◆全ての評価内容

集計数		事業の現状について	現状を踏まえた評価 (今後どのように取り組むべきか)	その他(メモ欄)
現行 どおり	5			・利用者のモラルアップに向けて、学校・事業者向けの広報強化が必要。

◆部会の評価結果(※委員会へ報告するもの)

部会としての評価	事業の現状について	現状を踏まえた評価 (今後どのように取り組むべきか)
現行 どおり		<ul style="list-style-type: none"> ・現行どおり実施してほしい。 ・利用者のモラルアップに向けて、学校や事業者向けの広報の強化を行ってほしい。

部会としての評価

事業名 1-4 生活雑排水施設補助金交付事業

◆全ての評価内容

集計数		事業の現状について	現状を踏まえた評価 (今後どのように取り組むべきか)	その他(メモ欄)
現行 どおり	5	コメント等なし		

◆部会の評価結果(※委員会へ報告するもの)

部会としての評価	事業の現状について	現状を踏まえた評価 (今後どのように取り組むべきか)
現行 どおり		・現行どおり実施してほしい。

部会としての評価

事業名 1-5 臼田霊園管理事業

◆全ての評価内容

集計数		事業の現状について	現状を踏まえた評価 (今後どのように取り組むべきか)	その他(メモ欄)
現行 どおり	1			
手法等の 見直し	3		<ul style="list-style-type: none"> ・昭和40年代より時代の変化は明らかであり、「管理協力金」の徴収は必要であると思う。可能であれば、医王寺さんへの移管は必要だと思います。(法的な争いは起こらない程度に。) ・利用者に再度、今後のあり方を検討していただく必要があるのではないか。 ・今後、市職員からシルバー人材センターへ委託すべき。 ・市から民間に委託を検討してもらいたい。 	
縮小	1		<ul style="list-style-type: none"> ・市の関与を減らす方向で見直しが必要。なるべく使用者を日常から巻き込み、受益感をしっかり持ってもらう必要がある。 	

◆部会の評価結果(※委員会へ報告するもの)

部会としての評価	事業の現状について	現状を踏まえた評価 (今後どのように取り組むべきか)
手法等の 見直し		<ul style="list-style-type: none"> ・市の関与を減らす方向で見直しが必要である。 ・なるべく利用者を日常から巻き込み、受益感をしっかり持ってもらい、今後のあり方を検討していただく必要がある。 ・昭和40年代より時代の変化は明らかであり、利用者からの「管理協力金」の徴収は必要である。 ・市から民間(医王寺やシルバー人材センター等)への管理運営の移管を検討すべきである。

部会としての評価

事業名 1-6 クラインガルテン望月管理事業

◆全ての評価内容

集計数		事業の現状について	現状を踏まえた評価 (今後どのように取り組むべきか)	その他(メモ欄)
拡充	2	<ul style="list-style-type: none"> ・3年は良いと思う。農業は3年目からコツを掴んで楽しくなると思うので、3年やってみて農業を続けたいか、辞めるか、決めてもらうのは良いことだと思う。 ・「空き家」や「遊休農地」を利用してはどうか。 ・待機者がいるほど人気がある事業なので、施設等を増やす事が出来れば拡大していける事業ではないか。 		
現行どおり	3		<ul style="list-style-type: none"> ・佐久の冬も良いと思わせる何かがほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現行どおり、年間利用を3年で良いと思う。

◆部会の評価結果(※委員会へ報告するもの)

部会としての評価	事業の現状について	現状を踏まえた評価 (今後どのように取り組むべきか)
現行どおり		<ul style="list-style-type: none"> ・現行どおり実施してほしい。 ・佐久の冬も良いと思わせる何かがほしい。 ・クラインガルテンの施設数の拡大や空き家、遊休農地の活用などを検証してほしい。

部会としての評価

事業名 1-7 学校情報教育推進事業

◆全ての評価内容

集計数		事業の現状について	現状を踏まえた評価 (今後どのように取り組むべきか)	その他(メモ欄)
拡充	1			
現行 どおり	4			・情報リテラシーの推進とともに正しい使い方の教育にも一層力を入れていただきたい。

◆部会の評価結果(※委員会へ報告するもの)

部会としての評価	事業の現状について	現状を踏まえた評価 (今後どのように取り組むべきか)
現行 どおり		・現行どおり実施してほしい。 ・情報リテラシー(※情報を使いこなす能力)の推進とともに、情報の正しい使い方の教育にも一層力を入れてほしい。

部会としての評価

事業名 1-8 天来記念館管理運営事業

◆全ての評価内容

集計数		事業の現状について	現状を踏まえた評価 (今後どのように取り組むべきか)	その他(メモ欄)
現行 どおり	3			・多くの来館者に来てもらうために、臨書展のような企画の他に、高校生等のパフォーマンス書道のような裾野を広げる企画も行ったらどうか。
手法等の 見直し	2		・入館者を増やす検討を。 ・佐久全国臨書展の委託料を減らしてほしい。NPO主導の実行委員会にしてほしい。	

◆部会の評価結果(※委員会へ報告するもの)

部会としての評価	事業の現状について	現状を踏まえた評価 (今後どのように取り組むべきか)
現行 どおり		・現行どおり実施してほしい。 ・入館者を増やす検討してほしい。 ・佐久全国臨書展の委託料を減らすよう、参加料の見直しなどを検討してほしい。また、NPO主導の実行委員会にしてほしい。 ・多くの来館者に来てもらうために、臨書展のような企画の他に、高校生等のパフォーマンス書道のような裾野を広げる企画も行ってほしい。

部会としての評価

事業名 1-9 望月歴史民俗資料館管理運営事業

◆全ての評価内容

集計数		事業の現状について	現状を踏まえた評価 (今後どのように取り組むべきか)	その他(メモ欄)
現行 どおり	4		<ul style="list-style-type: none"> ・小学校・中学校を対象としたワークショップをどんどん行ってほしい。 ・視察で初めて行ったが、歴史的なものが多々ありとても楽しむことができた。これをふまえて、より一層、子供や地元の人が集う場所になるよう手法を変えて行ってほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・佐久市内へのPRをしてもらいたい。 ・より多くの人に来館していただくよう、親しみやすい企画展、イベント等の充実や中山道観光の情報発信拠点として活用してもらいたい。
手法等の 見直し	1		<ul style="list-style-type: none"> ・歴史資料館であるため、あまりリピーター客は無いように思うので、集客に力を入れてもらいたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・天来記念館も含め、市内小学生が来館できるように取り組みたいと思う。 ・まだまだ、知らない方が多いと思うので、まずは市内から実施していけばと思う。

◆部会の評価結果(※委員会へ報告するもの)

部会としての評価	事業の現状について	現状を踏まえた評価 (今後どのように取り組むべきか)
現行 どおり		<ul style="list-style-type: none"> ・現行どおり実施してほしい。 ・より一層、子どもや地元の人が集う場所となるようにしてほしい。 ・市内でも、まだまだ、資料館を知らない方が多いと思うので、佐久市内の方へのPRをしてほしい。 ・より多くの方に来館してもらえよう、親しみやすい企画展、イベント等の充実や中山道観光の情報発信拠点として活用してほしい。 ・歴史資料館であり、あまりリピーター客は無いように思うので、集客に力を入れてほしい。 ・小学校・中学校を対象としたワークショップをどんどん行い、隣接する天来記念館も含め、市内小・中学生がより多く来館できるように取り組んでほしい。

部会としての評価

事業名 1-10 川村吾蔵記念館管理運営事業

◆全ての評価内容

集計数		事業の現状について	現状を踏まえた評価 (今後どのように取り組むべきか)	その他(メモ欄)
現行 どおり	3			・ホームページの見直し。(施設・企画等PR)
手法等の 見直し	2		・小学生を対象とした企画をもっと行った方が良いと思う。	・佐久市には良い施設・作品が沢山あるのに、あまり知られていないのは寂しい。各施設間で協議していただければと思う。民間の意見も取り入れてみてはどうか。例えば高校生・中学生はおもしろい発想があると思う。

◆部会の評価結果(※委員会へ報告するもの)

部会としての評価	事業の現状について	現状を踏まえた評価 (今後どのように取り組むべきか)
現行 どおり		<ul style="list-style-type: none"> ・現行どおり実施してほしい。 ・小・中学生を対象とした企画をさらに行ってほしい。 ・より、多くの方に来てもらえるよう、ホームページの内容を見直し、施設や企画等をPRしてほしい。 ・佐久市には良い施設・作品がたくさんあるのに、あまり知られていないのは寂しいため、オールマイティパスやスタンプラリーなどの他にも、各施設間で集客に向けた協議、取り組みをしてほしい。 ・民間の意見も取り入れてほしい。(例えば高校生・中学生はおもしろい発想があると思う。)

部会としての評価

事業名 2-1 人権同和教育事業

◆全ての評価内容

集計数		事業の現状について	現状を踏まえた評価 (今後どのように取り組むべきか)	その他(メモ欄)
拡充	3	<ul style="list-style-type: none"> ・人権に関する問題については、現在の手法等で差別をなくすことにつながるかどうか疑問。講座の開催や参加方法など、手法に検討を加える必要があるのではないか。 ・継続して行うべき事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習会への参加人数を増加させるために、手法等の見直しを行うべきである。 ・学習会の参加人数を増やし、差別があることを知ってもらうことが大事であるので、色々と工夫をするべきである。 ・教育で差別意識をなくす努力は必要のため、ニーズに合った対応を期待する。 	
手法等の見直し	2	<ul style="list-style-type: none"> ・人権尊重という観点からの教育に力を 	<ul style="list-style-type: none"> ・タイトルを変更する案を努めるべき 	

◆部会の評価結果(※委員会へ報告するもの)

部会としての評価	事業の現状について	現状を踏まえた評価 (今後どのように取り組むべきか)
拡充	<ul style="list-style-type: none"> ・人権に関する問題については、現在の手法等で差別をなくすことにつながるかどうか疑問。講座の開催や参加方法など、手法に検討を加える必要があるのではないか。 ・継続して行うべき事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習会への参加人数を増加させるために、手法等の見直しを行うべきである。 ・学習会の参加人数を増やし、差別があることを知ってもらうことが大事であるので、色々と工夫をするべきである。 ・教育で差別意識をなくす努力は必要のため、ニーズに合った対応を期待する。

部会としての評価

事業名 2-2 ぴんころ運動推進事業

◆全ての評価内容

集計数		事業の現状について	現状を踏まえた評価 (今後どのように取り組むべきか)	その他(メモ欄)
拡充	4	・名称等も含め、全国的にも珍しい運動であると思う。	<ul style="list-style-type: none"> ・望月高の食育教育は良いことと思うので、他校へも呼びかけ、働きかけが必要 ・食育というものに対して、是非小学生や中学生へ教室ができるよう行政からのアプローチをしっかりとしてほしい。 ・ぴんころ食の普及を推進し、市民の食生活の向上にもっと取り組んでいただきたい。 	
現行どおり	1	・高校生・大学生の皆さんへの食育教室の推進、また、コンテストで一般の人たちの関心を高める等意識啓発につなげる努力がされていると思う。	<ul style="list-style-type: none"> ・働き世代へのアプローチは大切なことだと思うので推進していただきたい。 	

◆部会の評価結果(※委員会へ報告するもの)

部会としての評価	事業の現状について	現状を踏まえた評価 (今後どのように取り組むべきか)
拡充	・名称等も含め、全国的にも珍しい運動であると思う。	<ul style="list-style-type: none"> ・望月高校で実施した食育教育は良い事業であるため、他校への呼びかけや働きかけも必要である。 ・食育について、小学生や中学生を対象とした教室ができるよう、行政からのアプローチをしっかりとすべきである。 ・働き世代へのアプローチは大切なことだと思うので、推進してほしい。 ・ぴんころ食の普及を推進し、市民の食生活の向上にさらに取り組んでいくべきである。

部会としての評価

事業名 2-3 こころの健康推進事業

◆全ての評価内容

集計数		事業の現状について	現状を踏まえた評価 (今後どのように取り組むべきか)	その他(メモ欄)
拡充	1	・事業は必要である。	・市の関与の必要性は認めるが、事業費・人件費に工夫の余地が考えられたら、その対応を。	
現行どおり	3	・複雑化する社会の中で、求められることも多くなると思う。デリケートな部分もあるため、対応は難しいと思うが、今後とも引き続き、ゲートキーパー等知識を持った人を育てる事業は大切になると思う。 ・各講座・研修共に参加者が目標を上回っていることはよいこと。	・依存症等は知られるのを嫌がって市の関与を嫌がる人もいると思うが、専門家の力も借りて長く支援できるよう、また、当事者同士のきずなが築いていくよう支援していただければと思う。 ・一般市民への参加の働きかけ(役職員の参加は十分できている。)	
手法等の見直し	1		・各種学校との関係が薄いように見える。(学校における教育が大切)	

◆部会の評価結果(※委員会へ報告するもの)

部会としての評価	事業の現状について	現状を踏まえた評価 (今後どのように取り組むべきか)
現行どおり	・複雑化する社会の中で、求められることも多くなると思う。デリケートな部分もあるため、対応は難しいと思うが、引き続き、ゲートキーパー等の知識を持った人を育てる事業は大切になると思う。 ・各講座・研修共に参加者が目標を上回っていることは良いこと。	・依存症等は知られるのを嫌がって、市からの関与を嫌がる人もいると思うが、専門家の力を借り、長く支援ができるようにしてほしい。 ・当事者同士の絆を築いていくことができるよう、支援してほしい。 ・市職員等の関係者の参加は十分あるため、一般市民への参加の働きかけを行ってほしい。

部会としての評価

事業名 2-4 地域医療事務事業

◆全ての評価内容

集計数		事業の現状について	現状を踏まえた評価 (今後どのように取り組むべきか)	その他(メモ欄)
拡充	1			
現行どおり	3	<ul style="list-style-type: none"> ・事業推進 ・現行の事業の方向性や取り組み内容は是認できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現行継続 ・経済状況と医療を両立させるのは難しい点もあると思うが、工夫と研究を進めてほしい。 	
手法等の見直し	1		<ul style="list-style-type: none"> ・歩く事に重点を置く政策が必要(特にアピール) 	

◆部会の評価結果(※委員会へ報告するもの)

部会としての評価	事業の現状について	現状を踏まえた評価 (今後どのように取り組むべきか)
現行どおり	<ul style="list-style-type: none"> ・事業推進 ・現行の事業の方向性や取り組み内容は是認できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現行どおり実施してほしい。 ・経済状況と医療を両立させるのは難しい点もあると思うが、今後も工夫と研究を進めてほしい。

部会としての評価

事業名 2-5 在宅要介護者歯科保健推進事業

◆全ての評価内容

集計数		事業の現状について	現状を踏まえた評価 (今後どのように取り組むべきか)	その他(メモ欄)
拡充	1		<ul style="list-style-type: none"> ・口腔ケアなどの重要性を要介護になる前の高齢者へ伝える講座などの開催を検討してほしい。 	
現行どおり	4	<ul style="list-style-type: none"> ・8020運動の徹底 ・このまま事業の推進を ・検診を受けることは要介護者にとっても家族にとってもありがたいと思う。できれば治療にもっとつながればよいと思うが、本人の意向もあり仕方ないのかもしれない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続 ・今後とも引き続き行っていってもらいたい。 ・要治療となったものが治療を望まない方が多いが、受診時に要治療となった場合には必ず治療をしてほしい旨記載する事が良いのでは。 	<ul style="list-style-type: none"> ・不満がない

◆部会の評価結果(※委員会へ報告するもの)

部会としての評価	事業の現状について	現状を踏まえた評価 (今後どのように取り組むべきか)
現行どおり	<ul style="list-style-type: none"> ・8020運動の徹底 ・このまま事業を推進する。 ・検診を受けることは要介護者にとっても家族にとってもありがたいと思う。できれば治療にもっとつながればよいと思うが、本人の意向もあり仕方ないのかもしれない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現行どおり実施してほしい。 ・要治療となった方で治療を望まない方が多いため、受診時に要治療となった場合には、必ず治療をして欲しい旨を記載して欲しい。

部会としての評価

事業名 2-6 へき地内山診療所管理運営事業

◆全ての評価内容

集計数		事業の現状について	現状を踏まえた評価 (今後どのように取り組むべきか)	その他(メモ欄)
手法等の見直し	2	<ul style="list-style-type: none"> ・設置基準を満たしているとはいえ、利用者一人とはいかがか。 ・現地視察をして廃止がふさわしいと思いましたが、利用者と受診方法を話し合って手法を見直してはと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎方式でどうか。 	
縮小	1	<ul style="list-style-type: none"> ・視察してみて診療所が古いことや設備にしても不安があったので、きちんとした診療ができるだろうかという疑問が生じた。それでも利用者の皆さんが望むのであれば、仕方がないだろうか？判断に迷った結果の縮小です。 	<ul style="list-style-type: none"> ・内山地区については、利用者の動向を踏まえ、市の判断で将来的には廃止も仕方ない。 	
廃止	2	<ul style="list-style-type: none"> ・へき地診療所としての目的が達成されていない。(利用者減) 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者が一人の現状を見るにつけ、廃止。 ・ここ数年の利用者数など見ても、今後利用者数の増加はないと思われます。衛生面や利用者数を鑑みても廃止すべきである。 	

◆部会の評価結果(※委員会へ報告するもの)

部会としての評価	事業の現状について	現状を踏まえた評価 (今後どのように取り組むべきか)
廃止	<ul style="list-style-type: none"> ・へき地診療所としての目的が達成されていない。(利用者減) 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者が一人のみの現状を見るにつけ、廃止すべきである。 ・衛生面や利用者数を鑑みても廃止すべきである。 ・ここ数年の利用者数など見ても、今後、利用者数の増加はないと思われる。

部会としての評価

事業名 2-7 ピアカウンセリング事業

◆全ての評価内容

集計数		事業の現状について	現状を踏まえた評価 (今後どのように取り組むべきか)	その他(メモ欄)

他団体に事務移管しているため評価は行わない。

◆部会の評

部会としての評価	事業の現状について	現状を踏まえた評価 (今後どのように取り組むべきか)

部会としての評価

事業名 2-8 つどいの広場事業

◆全ての評価内容

集計数		事業の現状について	現状を踏まえた評価 (今後どのように取り組むべきか)	その他(メモ欄)
拡充	2	<ul style="list-style-type: none"> ・子供の数も減少している現状ではあるが、地域で子供と親を支えることは今後ますます大切になると思うので、このまま推進してほしい。 ・ほかの地区にも通えるところがあればと思ったので拡充に変えさせてもらった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・開催場所など、もう少し増やして、引き続き多くの子を持つ親のための交流の場を作ってほしい。 ・社会状況と親のニーズを踏まえ、これまで通り事業を推進してほしい。 	
現行どおり	2	<ul style="list-style-type: none"> ・このまま継続 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで通り推進 	
手法等の見直し	1	<ul style="list-style-type: none"> ・各地区で行っている子育てサロン、児童館が類似する事業であれば、児童館の利用促進を。 		

◆部会の評価結果(※委員会へ報告するもの)

部会としての評価	事業の現状について	現状を踏まえた評価 (今後どのように取り組むべきか)
拡充	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの数が減少している現状ではあるが、地域で子どもと親を支えることは、今後ますます大切になると思うので、このまま推進してほしい。 ・他の地区にも通えるところがあれば良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会状況と親のニーズを踏まえ、これまでどおり事業を推進していくうえで、開催場所などをもう少し増やし、引き続き、多くの子を持つ親のための交流の場を作ってほしい。

部会としての評価

事業名 2-9 公立保育所給食事業

◆全ての評価内容

集計数		事業の現状について	現状を踏まえた評価 (今後どのように取り組むべきか)	その他(メモ欄)
現行 どおり	5	・顔が見える関わりのある給食という現状を維持してもらいたい。	・今後も引き続き園内での調理を。食材についても地産のものを使うという方向性で行うべきだと思う。	

◆部会の評価結果(※委員会へ報告するもの)

部会としての評価	事業の現状について	現状を踏まえた評価 (今後どのように取り組むべきか)
現行 どおり		<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、園内での調理を実施してほしい。 ・園児と調理員との顔が見える、関わりのある給食という現状を維持してもらいたい。 ・食材については、地産のものを使うという方向性で行うべき。

部会としての評価

事業名 3-1 農業体験事業

◆全ての評価内容

集計数		事業の現状について	現状を踏まえた評価 (今後どのように取り組むべきか)	その他(メモ欄)
拡充	2	<ul style="list-style-type: none"> 新規団体が増えず、かつ構成員も高齢化している。 3年間継続で、初年度にのみ20万円の補助となっている。 受入団体の育成や新規参入が課題となっている。 体験参加者は増えてきており、リピーターも多く交流人口の増加になっている。 交流人口を増やす事業だと思うので、ストーリー性のある事業にしてもらいたい。補助をする予算を拡充し、佐久市の目玉事業にしていくことが望ましい。 	<ul style="list-style-type: none"> 農業体験交流は重要な施策であり、団体の増加、特に若手の生産者の加入を増やすため、事業を拡大的に改善すべき。 受入団体の育成のために、もう少し補助をしっかりとった方が良いのではないか。 	
手法等の見直し	1	<ul style="list-style-type: none"> 組織論として農政課の仕事ではないのではないか(観光課の仕事か)。農政課のジャンルとしてなら、団体個人の自立が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業の事務局(募集、受付、連絡、通知、出欠まとめetc.)について、すべて市で行う必要があるのか。補助団体で一定の負担をってもらう必要があるのではないかと。団体の自立の方向へ行政の関与は必要であるから、次のステップに期待する。この方向でないと拡大は難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 観光(農園)との差別化について。どう違うのか(果樹のもぎとりetc.)。

◆部会の評価結果(※委員会へ報告するもの)

部会としての評価	事業の現状について	現状を踏まえた評価 (今後どのように取り組むべきか)
拡充	<ul style="list-style-type: none"> 組織論として農政課の事業ではないのではないか(観光課の事業ではないのか)。 新規の登録団体が増えず、かつ、構成員も高齢化している。 3年間継続で、初年度にのみ20万円の補助となっている。 受入団体の育成や新規参入が課題となっている。 体験参加者は増えてきており、リピーターも多く交流人口の増加になっている。 交流人口を増やす事業だと思うので、ストーリー性のある事業にしてもらいたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 農業体験は、農政としての事業ではなく、観光としての事業としていく中で、交流人口の増加につなげるため、補助等に係る予算を拡大し、佐久市の目玉事業としていくべきである。 農業体験における交流は重要な施策であり、団体の増加、特に若手の生産者の加入を増加させるため、事業を拡大的に改善すべきである。 受入団体の育成のため、補助内容をしっかりとったものとしていくべきである。

部会としての評価

事業名 3-2 農作物鳥獣害防止対策事業

◆全ての評価内容

集計数		事業の現状について	現状を踏まえた評価 (今後どのように取り組むべきか)	その他(メモ欄)
拡充	2	<ul style="list-style-type: none"> ・延長100mの下限を見直す必要がある。下げるべきではないか。山畑は100m無い。(二者でも可となっているため) ・FM佐久平と広報にて、事業のお知らせをしている。 ・予算は余っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・予算をやや多めに枠取りしているのは良い。 ・もう少し啓蒙活動に力を入れた方が良いかと思う(公会場にチラシを貼る等)。 	
現行どおり	1	<ul style="list-style-type: none"> ・予算執行率に余裕あり。現行通りで良い。 ・告知方法も適切。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現行通りで良いと考える。 	

◆部会の評価結果(※委員会へ報告するもの)

部会としての評価	事業の現状について	現状を踏まえた評価 (今後どのように取り組むべきか)
拡充	<ul style="list-style-type: none"> ・fmさくだいらと広報誌にて、事業のお知らせをしている。 ・予算は余っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・予算をやや多めに枠取りしているのは良い。 ・もう少し、広報活動に力を入れるべきである(公会場にチラシを貼る等)。 ・鳥獣被害防止用の防護柵に対する補助金について、補助対象となる防護柵の延長を100メートル以上としているが、山畑は周囲が100メートル以上ないところが多いため、下限を見直し、下げるべきである。

部会としての評価

事業名 3-3 地産地消推進事業

◆全ての評価内容

集計数		事業の現状について	現状を踏まえた評価 (今後どのように取り組むべきか)	その他(メモ欄)
拡充	2	<ul style="list-style-type: none"> ・学校給食における地元農産物のさらなる拡大利用を。 ・活動・成果をPRすることが不足している。 ・林業分野はキノコのための利用であり、木材としての利用が弱い。 ・量の安定が課題。 ・全体にアピール不足を感じる。誰に何をどのように販売、アピールしていくのか明らかにすることが大切である。 ・強みが出ていない。それぞれの場所(販売所)において、温度差を感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・補助団体が現在は米粉関係のみだが、他の関係団体はどうか。 ・委託している事業の広報が必要。 ・研究費があるため、北農以外の他の団体・個人にもお願いして拡大していくのはどうか。 ・農産物にウェイトが高い。林業・水産業についても予算等拡充して力を入れていくべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ・委託費(研究費)に関して、品目もより多くして拡充すべき。
手法等の見直し	1		<ul style="list-style-type: none"> ・内容は現状でも良いと思うが、市民へのPR活動の方法を見直すべき。 	

◆部会の評価結果(※委員会へ報告するもの)

部会としての評価	事業の現状について	現状を踏まえた評価 (今後どのように取り組むべきか)
拡充	<ul style="list-style-type: none"> ・活動や成果など、全体的にアピール不足を感じる。誰に何をどのように販売、アピールしていくのか明らかにすることが大切である。 ・地産地消を行っているという強みが出ていない。それぞれの場所(販売所)において、温度差を感じる。 ・林業分野における地産地消は、キノコのための利用となっており、木材としての利用が弱い。 ・地産地消として利用するものの、量の安定が課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・負担金の支出団体が現在は米粉関係の団体のみであるため、他の関係団体にも支出をし、地産地消を推進していくべきである。 ・研究開発費の支出について、現在研究をお願いしている団体以外の団体や個人にも支出することや研究品目をより多くしていくなどの拡大を図っていくべきである。 ・農産物に対するウェイトが高いため、林業・水産業についても予算等を拡充して力を入れていくべきである。 ・委託している事業などについての市民へのPR活動の方法を見直すべきである。 ・学校給食における地元農産物のさらなる利用拡大を図るべきである。

部会としての評価

事業名 3-4 有害鳥獣駆除対策事業

◆全ての評価内容

集計数		事業の現状について	現状を踏まえた評価 (今後どのように取り組むべきか)	その他(メモ欄)
拡充	2	<ul style="list-style-type: none"> ・猟友会会員を確保し増加させることが必要。 ・有害鳥獣を極力捕獲していく方針。 	<ul style="list-style-type: none"> ・頭数に応じて事業費を拡大すべき。 ・猟友会に対しては安全対策の告知も継続してもらいたい。 	
現行どおり	1		<ul style="list-style-type: none"> ・実状に合った対策を続けてもらいたい。 	

◆部会の評価結果(※委員会へ報告するもの)

部会としての評価	事業の現状について	現状を踏まえた評価 (今後どのように取り組むべきか)
拡充	<ul style="list-style-type: none"> ・有害鳥獣を極力捕獲していく方針となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・捕獲頭数に応じて、今後は事業費を拡大していくべきである。 ・猟友会の会員を確保し、増加させていくべきである。 ・猟友会に対して、野生鳥獣を捕獲する際の安全対策の告知(指導等)を継続していくべきである。

部会としての評価

事業名 3-5 死獣処理事業

◆全ての評価内容

集計数		事業の現状について	現状を踏まえた評価 (今後どのように取り組むべきか)	その他(メモ欄)
拡充	1	・必要不可欠である。	・処理数に応じて拡充していくべき。	
現行どおり	2	・市から民間業者に変更24時間体制となったことから、すばやい対応ができるようになったが、反面、支出は増加した。	・動物の事故の増加は十分考えられるので、支出の増加もあるが、市民の安全な通行確保の意味でも現状どおりで良い。	

◆部会の評価結果(※委員会へ報告するもの)

部会としての評価	事業の現状について	現状を踏まえた評価 (今後どのように取り組むべきか)
現行どおり	・死獣の回収や処分の実施が、市から民間業者に変更24時間体制となったことから、すばやい対応ができるようになったが、反面、支出は増加した。	・動物が交通事故に遭うケースが増加し、回収及び処理を行うための委託費の支出の増加は、十分考えられるが、市民が安全に道路を通行することを確保するためにも、現行どおり事業を実施していくべきである。

部会としての評価

事業名 3-6 外国人定住支援事業

◆全ての評価内容

集計数		事業の現状について	現状を踏まえた評価 (今後どのように取り組むべきか)	その他(メモ欄)
現行どおり	2	・特に問題なし。事業自体は必要である。	・必要な事項が完備され、費用の拡大も当面は不要なことから、現行通りと考える。 ・現状通りで良い。	
手法等の見直し	1		・「今後の取り組み」にもある通り、国際交流サロンの事務局を民間団体に移行していった方が良い(アイデア・量に変化が出る)。行政の参加は必要である。	

◆部会の評価結果(※委員会へ報告するもの)

部会としての評価	事業の現状について	現状を踏まえた評価 (今後どのように取り組むべきか)
現行どおり	・特に問題なし。事業自体は必要である。	・目的を達成するために必要な事業内容が完備されており、費用の拡大も当面は不要なことから、現行どおり事業を実施していくべきである。 ・今後は国際交流サロンの事務局について、アイデアや量に変化を持たせる意味でも、民間団体に移行させ、運営していくべきである。

部会としての評価

事業名 3-7 プラザ佐久管理運営事業

◆全ての評価内容

集計数		事業の現状について	現状を踏まえた評価 (今後どのように取り組むべきか)	その他(メモ欄)
拡充	1		<ul style="list-style-type: none"> ・自主事業の拡充を積極的に計画していくべき。自主事業は多様であっても良い(佐久市振興公社か、市か、それとも他団体か)。 ・販売商品の拡充研究を行うべき(農産品)。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用客の出入の動線を検討しているとのことだが、早く結論を得るようにしてもらいたい。プラザ佐久へ入りやすい動線を検討すべき。
現行どおり	1	<ul style="list-style-type: none"> ・設備として市が管理を継続していくべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ・振興公社の運営手法について、様々なアイデアを盛り込みつつ、現行規模で継続されていくのが良い。 	
縮小	1	<ul style="list-style-type: none"> ・収支差額1,500万円を税金でまかなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・振興公社への委託料1,500万円は高い。減らす努力が必要である。 	

◆部会の評価結果(※委員会へ報告するもの)

部会としての評価	事業の現状について	現状を踏まえた評価 (今後どのように取り組むべきか)
拡充		<ul style="list-style-type: none"> ・自主事業の拡充を積極的に計画し、収益を上げることにより、管理運営に係る委託費を減らしていくことを検討すべきである。 ・自主事業を行う団体は、現在の管理団体や市またはその他の団体等、多様であっても良い。 ・販売商品を拡充するための研究を行うべきである(農産品等)。 ・利用客の出入の動線を検討しているとのことだが、早急にプラザ佐久へ入りやすい動線を検討し、結論を出すべきである。

部会としての評価

事業名 3-8 アダプトシステム事業

◆全ての評価内容

集計数		事業の現状について	現状を踏まえた評価 (今後どのように取り組むべきか)	その他(メモ欄)
拡充	1		<ul style="list-style-type: none"> 協定の締結を行った団体が16あったとのことだが、PRによりもっと増やすべきである。 	
現行どおり	2	<ul style="list-style-type: none"> シルバーセンターへ委託している部分がある。 実施団体は多いがアダプトシステムへの登録が少ない。 「アダプトシステム」の名称は全国統一である。 公立学校は国県道実施。 事故が無いように注意している。 アダプトを認定している場所が現在どのように進捗しているのか、検証していく必要があると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 認知度合が低いため、広報での普及を推進すべきである。 区で取り組んでいる所など、アダプト事業の活動により、美化等作業の成果もさる事ながら、取り組む団体の活性化にもつながっている様に視察で感じられたので、縮小はせず、現行どおりで良いかと思う。 	

◆部会の評価結果(※委員会へ報告するもの)

部会としての評価	事業の現状について	現状を踏まえた評価 (今後どのように取り組むべきか)
現行どおり	<ul style="list-style-type: none"> 実施団体は多いがアダプトシステムへの登録が少ない。 「アダプトシステム」の名称は全国統一である。 公立学校は国県道で実施。 事故が無いように注意している。 アダプトを認定している場所が現在どのように進捗しているのか、検証していく必要があると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 区で取り組んでいる箇所など、本事業の活動により、美化等の成果が上がっていることもさることながら、取り組む団体の活性化にもつながっている様に感じられるため、現行どおり実施していくべきである。 認知度が低いことから、PRを行うことにより、協定の締結団体(里親)をさらに増やすとともに、本事業の認知度を上げるためにも、広報誌等での普及を推進するべきである。

部会としての評価

事業名 3-9 土地区画整理啓発・情報収集事業

◆全ての評価内容

集計数		事業の現状について	現状を踏まえた評価 (今後どのように取り組むべきか)	その他(メモ欄)
拡充	1		<ul style="list-style-type: none"> ・用途地域内における需要の掘り起こしが必要である。研究・検討を行うべき。 ・今後、新用途地域内の事業化推進が必要である。 	
現行どおり	2	<ul style="list-style-type: none"> ・啓発と情報収集が目的であり、土地区画整理事業の新規認可を成果指標とするのは違和感がある。 ・啓発行動目標、情報収集行動目標を成果指標とした方が良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・土地区画整理事業は都市計画上重要であり、かつ地権者の思いが複雑に入り組むため、啓発は必要である。かつ、行政の手法のスキルアップも重要である。よって、現行通り事業は必要である。 	

◆部会の評価結果(※委員会へ報告するもの)

部会としての評価	事業の現状について	現状を踏まえた評価 (今後どのように取り組むべきか)
現行どおり	<ul style="list-style-type: none"> ・啓発と情報収集が目的であり、土地区画整理事業の新規認可を成果指標とするのは違和感がある。 ・啓発行動目標、情報収集行動目標を成果指標とした方が良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・土地区画整理事業は都市計画上、重要な事業であり、かつ地権者の思いが複雑に入り組むため、啓発は必要であり、かつ、行政の手法のスキルアップも重要である。よって、現行どおり、事業は実施していくべきである。 ・今後、用途地域内における需要の掘り起こしの研究・検討を行うとともに、新用途地域内の事業化を推進していく必要はある。